



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

防災訓練

校長 菅原 和子

長い夏休みが明け、元気な子どもたちの笑顔が戻ってきました。夏季休業中には、保護者、地域の皆様が子どもたちの生活を見守ってくださり、ありがとうございました。おかげ様で大きな事故やけがもなく、スタートすることができました。

この夏は、各地で熱中症と台風・大雨に備えることも多かったかと思います。土砂崩れや浸水に見舞われた地域がいくつもありました。被害を受けた所では、夏休み・盆休みどころではなく地域住民総出で後片付けに追われていました。「線状降水帯」という言葉もよく耳にした夏でした。気象庁では、線状降水帯が発生すると大雨災害発生危険度が急激に高まるため、心構えを一段と高めてもらうことを目的として、線状降水帯による大雨の前日に呼びかけを行っています。自然災害は突然やってきます。備えていてもどうにもならないこともあります。命を守るために確認・備えをしておきたいものです。

さて、9月1日は「防災の日」です。そして、この日を含む1週間（8月30日から9月5日まで）が「防災週間」と定められています。本校でも、本日（8月31日）、防災訓練を実施しました。今回は、授業中に震度5強以上の大地震が発生したという想定です。また、クラスに負傷者を1名想定し、安全に手当てを行う場所まで避難し、養護教諭と情報を共有した上で処置をするという設定で行いました。子どもたちには、「お・か・し・も」（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）という言葉で避難の心構えを指導しました。これは、落ち着いて、安全に、そして周囲からの指示ををよく聞いて避難するという意味です。災害はいつ起きるか分かりません。授業中、教室で担任の指示が届く場にいるときだけではなく、休み時間、校庭で遊んでいるとき、登下校中かもしれません。また、停電で校内放送も使えないかもしれません。そのために学校では「自分の命は自分で守ることのできる子ども」を育てていきたいと願っています。

・先生の指示が届かなくても、自分の力で周囲の状況を確認し、どこへ避難したら安全かを判断する。

・高学年の児童は、周りに低学年の児童がいたら、声をかけ手を引いて一緒に避難する。

今回の防災訓練では、「お・か・し・も」を心構えに加えてこの2点も指導しました。ご家庭でも「防災の日」にあたり話題にさせていただき、ご家族での避難の確認をしていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

38日間、それぞれの過ごし方の中で、きっと夏休みならではの経験をしたのではないのでしょうか？長かった夏休み、久しぶりの学校にわくわくしている子、不安に感じている子など様々な思いで登校してきたのではないのでしょうか？しばらくは、まだ暑い日が続きます。体調には十分気を付けながら、新たな気持ちで「やっぱり学校って楽しいな。」と思えるように、一人ひとりにしっかり目を向けて、学校生活を再スタートしたいと思います。保護者の皆様、何かお気付きの点がありましたら遠慮なく担任までご連絡ください。

保護者、地域の皆様、引き続き、学校への温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。